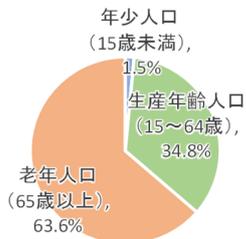


古市 (ふるいち)

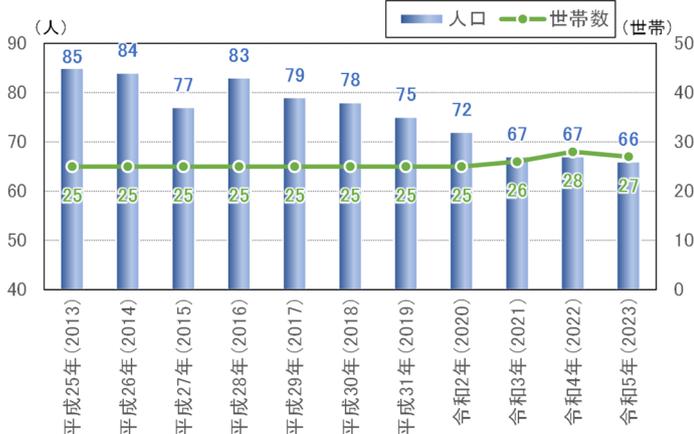
人口・世帯数等 (令和5年4月)

人口	66人
世帯数	27世帯
高齢化率	63.6%

年齢別人口割合



人口・世帯数の推移 (過去10年間)



区域の概要

立地 集落の南側には山が迫り、東側から南東側に田畑が開けている。集落の東側を岸田川沿いに主要県道浜坂井土線が走る。

地名由来 対岸に新市村があることから、古くから定期市が開かれていたことによると思われる。

歴史等 字上ノ山に戦国末期の古市城跡がある。弘治3年(1557)の『但馬国にしかた日記』から、中世には杉谷村と言われ、新市と一村であったことがわかる。「古市」というのは、近世以降であるが、高野山西明院にある中村備後守(新市の住人)の文禄2年(1593)の位牌には「杉谷村」とあり、当時はまだ杉谷村で、翌年頃から行われた太閤検地で古市村が成立したと見られる。

近世の古市村は、豊臣政権下では太閤蔵入地(豊臣氏の直轄地)で、江戸時代には、慶長10年(1605)旗本宮城氏知行、正保元年(1645)幕府領、寛文8年(1668)豊岡藩領、享保12年(1727)幕府領、文化3年(1806)からは豊岡藩領となった。家数は、宝暦10年(1760)26。天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は126石余。

明治22年(1889)大庭村の大字となり、昭和29年(1954)からは浜坂町の大字となる。明治24年(1891)の戸数34、人口は男98・女70。

これまで把握している文化財

文化財の件数 21件 (うち指定等文化財 0件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等	
有形文化財	建造物	建築物	0	0	
		石造物	0		
		工作物・その他の構造物	0		
	美術工芸品	彫刻	1	6	
		絵画	1		
		工芸品	2		
		書跡・典籍	0		
		古文書・歴史資料・考古資料	2		
無形文化財	音楽	0	0		
	演劇	0			
	工芸技術	0			
	その他の無形文化財	0			
	信仰の場	3		5	
	有形の民俗文化財	祭具			0
		民具			0
その他の有形の民俗文化財		0			
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	2			
	民俗技術	0			
	食文化	0			
	民間説話・俗信	0			
記念物	遺跡	その他の無形の民俗文化財	0	10	
		散布地・集落跡・生産遺跡	1		
		古墳・その他の墓	8		
		城館跡・寺社跡	1		
		街道・古道等	0		
		戦争遺跡	0		
		その他の遺跡	0		
	名勝地	山岳・高原・丘陵	0	10	
		海岸・海浜・島嶼	0		
		河川・滝・渓谷・湖沼	0		
		公園・庭園	0		
		その他の名勝地	0		
		動物	0		
動物・植物・地質鉱物	植物	0	0		
	地質鉱物	0			
文化的景観	生活・生業・風土により形成された景観地	0	0		
伝統的建造物群	宿場町・城下町・農漁村等	0	0		



古市八坂神社



本殿

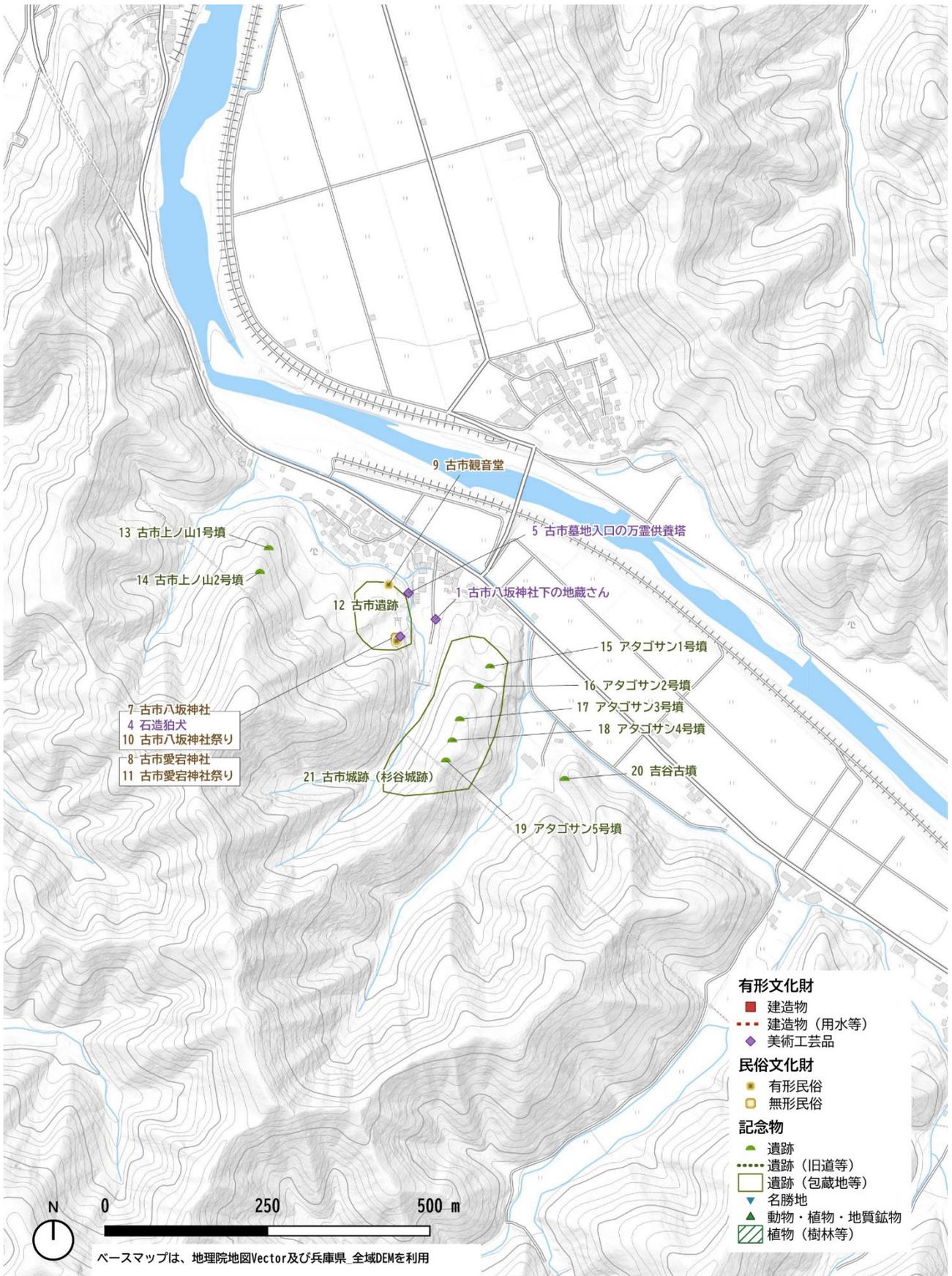
石造狛犬



古市八坂神社下の地蔵さん

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

2-10 古市

文化財の一覧

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	1	古市八坂神社下の地藏さん	もとは観音堂の前庭に祀られていたが、現在は日常的に世話がしやすいように、八坂神社の下に移転されている。
絵画	2	古市観音堂の絵馬	古市の観音堂に掲げられており、彩色は剥げているが、地獄極楽、観音像が描かれている。江戸時代のものと思われる。
工芸品	3	古市八坂神社の石造狛犬	古市八坂神社の石段を登りきった場所、社殿前に位置する石造狛犬。左右一対。
	4	古市墓地入口の万霊供養塔（建立年不明）	安山岩の自然石型。高さ123cm。建立年は不明。主碑銘は「三界萬霊十方至誠等」。
古文書・歴史資料・考古資料	5	古市村文書	所在不明
	6	西村好男文書	所在不明

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	7	古市八坂神社	祭神は素戔鳴命。創立年月は不明。京都八坂神社から分霊を勧請したと伝える。慶長3年（1598）に社殿を再建して、牛頭天王と改称した。明治初年（1868）に八坂神社と改め、同6年（1873）10月に村社に列せられる。境内社には、稲荷神社（保食神）、荒神社（神素戔鳴命）、愛宕神社（軻遇突智神）がある。
	8	古市愛宕神社	古市八坂神社の境内社。八坂神社の左隣に位置する。
	9	古市観音堂	通称「観音さん」と呼ばれ、古市集落の中央の小高い丘の上に建てられている。昭和30年代まで盆踊りや地藏盆が行われていた。戦後しばらくは、観音堂に安寿さんがおられ、世話をされていた。

■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・民俗芸能	10	古市八坂神社祭り	10月1日に行われる。
	11	古市愛宕神社祭り	7月24日に行われる。

■ 記念物／遺跡

分類	番号	名称	概要
散布地・集落跡・生産遺跡等	12	古市遺跡	縄文～古墳時代の散布地。縄文土器・矢じり・石斧・弥生土器、土師器片等が多数出土。
古墳・その他の墓	13	古市上ノ山1号墳	古墳時代の古墳。5m×4mの方形平坦面。川原石が散乱している。
	14	古市上ノ山2号墳	古墳時代の古墳。中世墓の可能性もある。
	15	アタゴサン1号墳	古墳時代の古墳。横穴式石室が露出。刀片が出土。
	16	アタゴサン2号墳	古墳時代の古墳。方形、一辺8m。
	17	アタゴサン3号墳	古墳時代の古墳。円墳、径12m。
	18	アタゴサン4号墳	古墳時代の古墳。円墳、径6m。
	19	アタゴサン5号墳	古墳時代の古墳。円墳、径6m。
	20	吉谷古墳	古墳時代の古墳。径8m、円墳。横穴式石室。

分類	番号	名称	概要
城館跡・ 寺社跡	21	古市城跡（杉谷城跡）	中世の城館跡。堀切・郭が残る。古市城は、下の城の居館部をさすものと思われ、上の城と称する古墳群は、部分的に城として利用したものと考えられる。下の城の居館部は、背後の大規模な二重の堀切・豎堀から判断すると、戦国期の遺構と考えられる。中世には、現古市と現新市をあわせて杉谷村と呼んでおり、『二方考』や『二方民談記』の伝承を勘案すると、古市城が杉谷城であり、その城主は中村備後守の可能性が高いとされる。